

# 青森県経済統計報告

令和 4 年 4 月 5 日  
企画政策部統計分析課

1 青森県の推計人口（令和 4 年 3 月 1 日現在） ..... 1

県 人 口    1, 214, 864 人（対前月 1, 522 人減少）	
自然動態	1, 148 人減少（出生者数    473 人、 死亡者数 1, 621 人）
社会動態	374 人減少（転入者数    839 人、 転出者数 1, 213 人）

2 本県の経済動向（令和 4 年 1 月・令和 4 年 2 月の経済指標を中心として）

（1）経済概況

本県経済は、新型コロナウイルス感染症の影響から厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さがみられる。	
--	--

（2）主要経済指標の動向

(2-1)	生産動向	・令和 4 年 1 月の <b>青森県鉱工業生産指数</b> （平成 27 年＝100）は、季節調整済指数が 102. 4 で、前月比 2. 1%の上昇となり、2 カ月ぶりで前月を上回った。また、原指数は 92. 8 で、前年同月比 1. 8%の低下となり、2 カ月連続で前年同月を下回った。	… 2
(2-2)	雇用労働	・令和 4 年 1 月の <b>定期給与</b> は 223, 652 円で前年同月比 0. 2%増となった。 <b>総実労働時間</b> は 140. 1 時間で前年同月比 2. 2%減、 <b>所定外労働時間</b> は 9. 4 時間で前年同月比 2. 4%減となった。 ・令和 4 年 2 月の <b>有効求人倍率</b> （季節調整値）は 1. 13 倍で、前月を 0. 03 ポイント下回ったものの、11 カ月連続で 1 倍を上回った。	… 3
(2-3)	物 価	令和 4 年 2 月の青森市消費者物価指数（令和 2 年＝100）は、総合指数が 101. 7 となり、前月比 0. 4%の上昇、前年同月比 1. 8%の上昇となった。また、生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は 99. 2 となり、前月比 0. 2%の上昇、前年同月比 1. 0%の下落となった。	… 5
(2-4)	個人消費	・令和 4 年 2 月の <b>百貨店・スーパー販売額</b> は、134 億円で全店舗ベースが前年同月比 2. 8%減となり、4 カ月連続で前年同月を下回った。また、既存店ベースでは前年同月比 3. 7%減となり、4 カ月連続で前年同月を下回った。 ・令和 4 年 2 月の軽乗用車を含めた <b>乗用車新車登録・届出台数</b> は 2, 679 台で、前年同月比 22. 1%減となり、2 カ月連続で前年同月を下回った。 ・令和 4 年 2 月の主な観光施設の <b>観光入込客数</b> は、23 万 1 千人で前年同月比 29. 9%減となり、4 カ月ぶりに前年同月を下回った。また、主な宿泊施設の <b>宿泊者数</b> は、9 万 8 千人で前年同月比 3. 7%減となり、4 カ月ぶりに前年同月を下回った。	… 6
(2-5)	建 設	・令和 4 年 2 月の <b>新設住宅着工戸数</b> は 212 戸で、前年同月比 27. 1%減となり、2 カ月連続で前年同月を下回った。 ・令和 4 年 2 月の <b>公共工事請負金額</b> は 44 億 3, 900 万円で前年同月比 33. 2%増となり、3 カ月ぶりに前年同月を上回った。	… 8
(2-6)	企業倒産	令和 4 年 2 月の <b>企業倒産</b> は、件数は 4 件で前年同月比 100. 0%増となった。負債総額は 2 億 8, 700 万円で前年同月比 66. 0%減となった。	… 8

（3）景気動向指数 C I（令和 4 年 1 月分） ..... 9

先行指数	120. 8（前月を 4. 7 ポイント下回り、2 カ月連続で下降した）
一致指数	80. 4（前月を 3. 5 ポイント上回り、2 カ月ぶりに上昇した）
遅行指数	96. 5（前月を 5. 0 ポイント下回り、6 カ月ぶりに下降した）

# 1 青森県の推計人口（令和4年3月1日現在）

## 【概 況】

令和4年3月1日現在の本県推計人口は、1, 214, 864人で、前月に比べ1, 522人の減少となった。

### ○自然動態

出生者数が473人、死亡者数が1, 621人で、1, 148人の減少となった。

### ○社会動態

転入者数が839人、転出者数が1, 213人で、374人の減少となった。

## 総人口の推移

（単位：人）

	総数	男	女	対前月 増減率	増減数	自然 増減数	出生者数	死亡者数	社会 増減数	県外からの 転入者数	県外への 転出者数
昭 45.10. 1	1,427,520	685,477	742,043	-	10,929	-	-	-	-	-	-
50.10. 1	1,468,646	707,232	761,414	-	41,126	-	-	-	-	-	-
55.10. 1	1,523,907	735,444	788,463	-	55,261	-	-	-	-	-	-
60.10. 1	1,524,448	731,439	793,009	-	541	-	-	-	-	-	-
平 2.10. 1	1,482,873	704,758	778,115	-	-41,575	-	-	-	-	-	-
7.10. 1	1,481,663	704,189	777,474	-	-1,210	-	-	-	-	-	-
12.10. 1	1,475,728	702,573	773,155	-	-5,935	-	-	-	-	-	-
17.10. 1	1,436,657	679,077	757,580	-	-39,071	-	-	-	-	-	-
22.10. 1	1,373,339	646,141	727,198	-	-63,318	-	-	-	-	-	-
27.10. 1	1,308,265	614,694	693,571	-	-65,074	-	-	-	-	-	-
令2. 10. 1	1,237,984	583,402	654,582	-	-70,281	-	-	-	-	-	-
令3. 3. 1	1,232,303	580,617	651,686	-0.106%	-1,309	-1,084	453	1,537	-225	1,023	1,248
令3. 4. 1	1,226,704	577,732	648,972	-0.454%	-5,599	-1,080	584	1,664	-4,519	3,583	8,102
令3. 5. 1	1,226,052	577,551	648,501	-0.053%	-652	-928	604	1,532	276	2,861	2,585
令3. 6. 1	1,224,781	576,924	647,857	-0.104%	-1,271	-1,010	540	1,550	-261	884	1,145
令3. 7. 1	1,223,717	576,436	647,281	-0.087%	-1,064	-900	546	1,446	-164	1,015	1,179
令3. 8. 1	1,222,949	576,212	646,737	-0.063%	-768	-910	554	1,464	142	1,460	1,318
令3. 9. 1	1,222,051	575,775	646,276	-0.073%	-898	-963	621	1,584	65	1,322	1,257
令3. 10. 1	1,221,305	575,531	645,774	-0.061%	-746	-958	564	1,522	212	1,423	1,211
令3. 11. 1	1,220,315	575,169	645,146	-0.081%	-990	-958	550	1,508	-32	1,167	1,199
令3. 12. 1	1,219,219	574,658	644,561	-0.090%	-1,096	-1,066	515	1,581	-30	1,038	1,068
令4. 1. 1	1,217,988	574,116	643,872	-0.101%	-1,231	-1,163	473	1,636	-68	996	1,064
令4. 2. 1	1,216,386	573,399	642,987	-0.132%	-1,602	-1,367	530	1,897	-235	898	1,133
令4. 3. 1	1,214,864	572,686	642,178	-0.125%	-1,522	-1,148	473	1,621	-374	839	1,213

## 2 月中の人口動態の推移

（単位：人）

年月	H24.2	25.2	26.2	27.2	28.2	29.2	30.2	31.2	R2.2	3.2	4.2
自然 動態	出生者数	709	655	657	642	662	621	626	560	453	473
	死亡者数	1,602	1,477	1,356	1,396	1,543	1,478	1,566	1,646	1,479	1,621
	自然増減数	-893	-822	-699	-754	-881	-857	-940	-1,086	-973	-1,148
社会 動態	県外からの 転入者数	1,012	992	1,028	965	1,088	999	962	966	1,025	839
	県外への 転出者数	1,332	1,266	1,292	1,384	1,408	1,359	1,389	1,552	1,367	1,213
	社会増減数	-320	-274	-264	-419	-320	-360	-427	-586	-342	-374
増減数計		-1,213	-1,096	-963	-1,173	-1,201	-1,217	-1,367	-1,672	-1,315	-1,522

※1 昭和45、50、55、60、平成2、7、12、17、22、27、令和2年は国勢調査人口（確定値）。

※2 令和2年11月1日以降の人口は、令和2年国勢調査人口（確定値 総務省統計局 令和3年11月30日）を基礎に推計している。

※3 増減数は、昭和45、50、55、60、平成2、7、12、17、22、27、令和2年が各々の前回国勢調査、その他が前月推計人口に対するものである。

※4 算出方法

県の推計人口＝前月の人口＋自然増減数（出生者数－死亡者数）＋社会増減数（県外からの転入者数－県外への転出者数）

## 2 本県の経済動向

### (2) 主要経済指標の動向

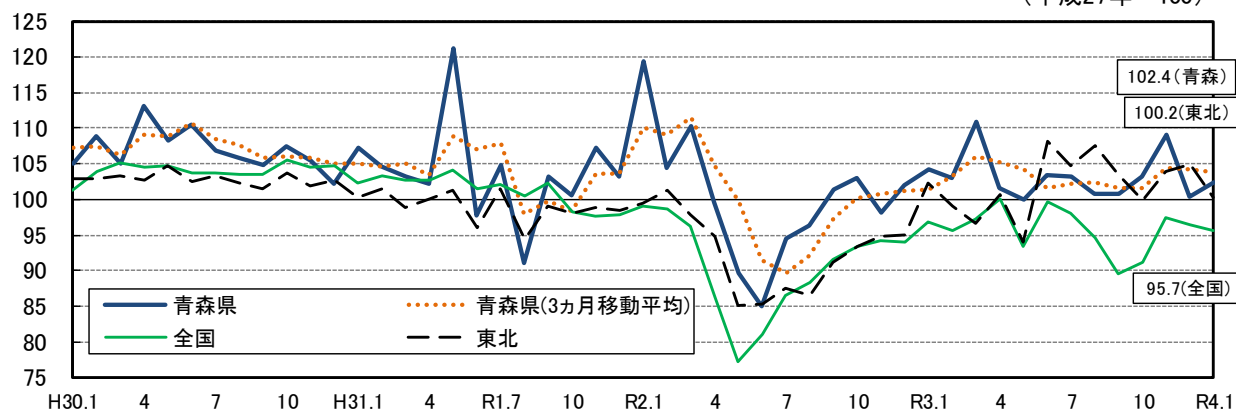
#### (2-1) 生産動向

令和4年1月の青森県鉱工業生産指数(平成27年=100)は、季節調整済指数が102.4で、前月比2.1%の上昇となり、2ヵ月ぶりで前月を上回った。また、原指数は92.8で、前年同月比1.8%の低下となり、2ヵ月連続で前年同月を下回った。

季節調整済指数で前月からの動きをみると、金属製品工業、輸送機械工業、食料品工業等が上昇に寄与した一方、生産用機械工業、化学工業、パルプ・紙・紙加工品工業等が低下し、鉱工業全体では2.1%の上昇となった。

青森県・全国・東北の鉱工業生産指数推移(季節調整済指数)

(平成27年=100)



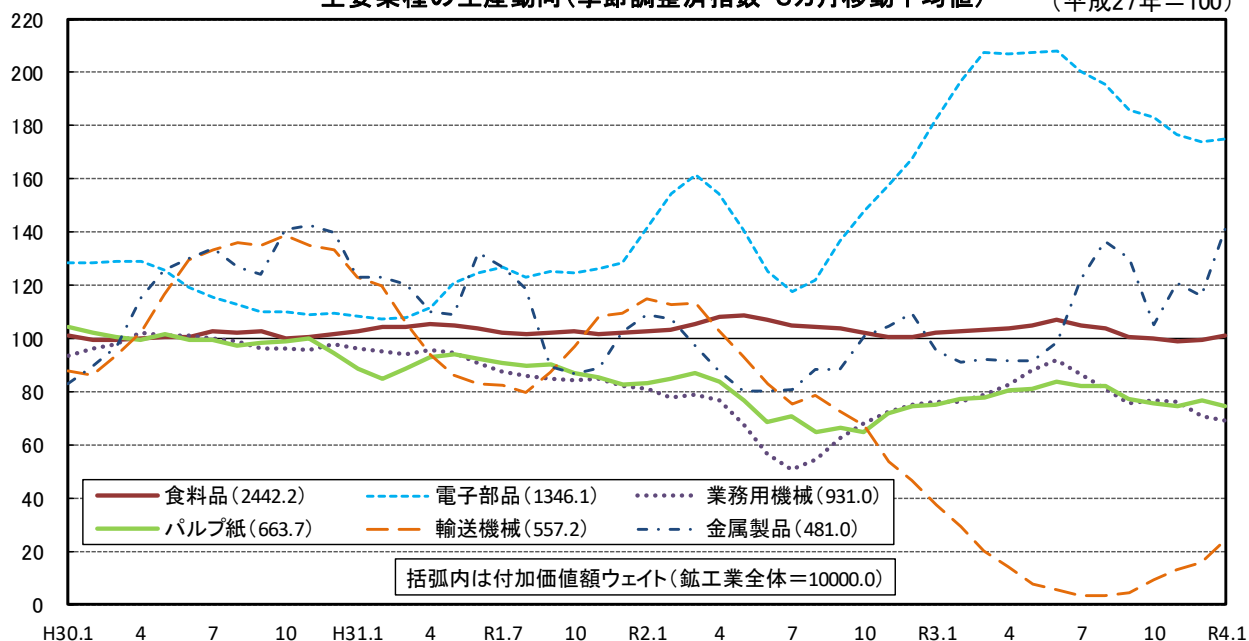
◎業種別動向(前月比) 鉱工業全体 2.1%

プ ラ ス			マ イ ナ ス		
業 種	前月比(%)	寄与率(%)	業 種	前月比(%)	寄与率(%)
金属製品工業	43.3	254.0	生産用機械工業	-70.6	-420.1
輸送機械工業	182.6	198.8	化学工業	-31.0	-224.2
食料品工業	4.8	147.8	パルプ・紙・紙加工品工業	-12.9	-85.3
電気機械工業	15.7	104.3	家具工業	-34.4	-66.0
非鉄金属工業	15.0	66.2	石油・石炭製品工業	-38.0	-16.4

※寄与率とは、総合指数の上昇(低下)に対する、業種ごとの影響度を構成比で示したものであり、ポイント差とウェイトとの総合的な大きさで決まる。

主要業種の生産動向(季節調整済指数・3ヵ月移動平均値)

(平成27年=100)



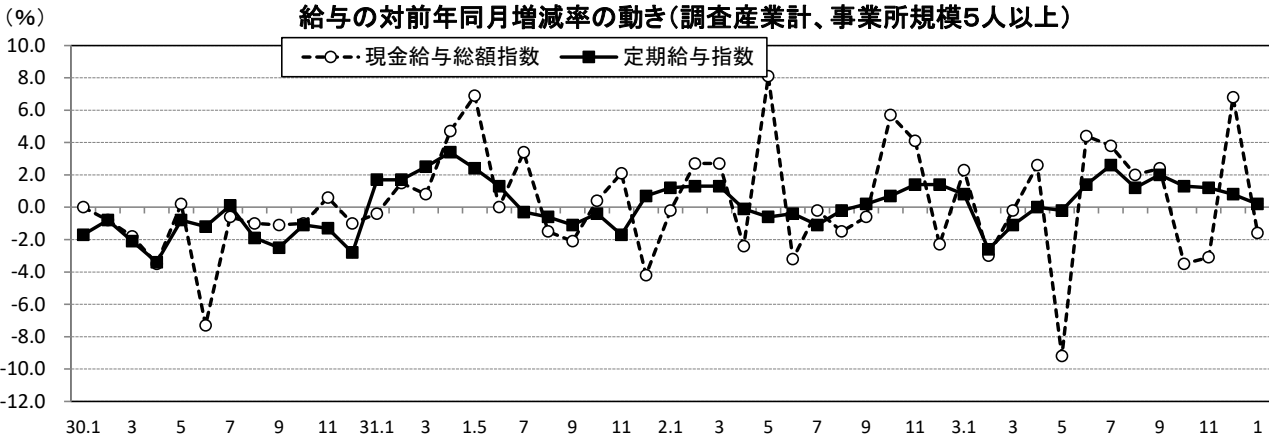
資料: 県統計分析課「青森県鉱工業生産指数(速報)」

(2-2) 雇用労働

(2-2-1) 給与・労働時間（毎月勤労統計調査結果）

令和4年1月の定期給与は223,652円で、定期給与指数（令和2年＝100）では100.5となり、前年同月比0.2%増と8カ月連続の増（現金給与総額227,517円、現金給与総額指数87.0、前年同月比1.6%減）となった。

総実労働時間は140.1時間で、総実労働時間指数は95.1となり、前年同月比2.2%減と3カ月ぶりの減となった。このうち、所定外労働時間は9.4時間で、所定外労働時間指数は100.0となり、前年同月比2.4%減と7カ月連続の減となった。



資料：県統計分析課「毎月勤労統計調査結果（速報）」

給与及び労働時間の全国との比較（調査産業計、事業所規模5人以上）

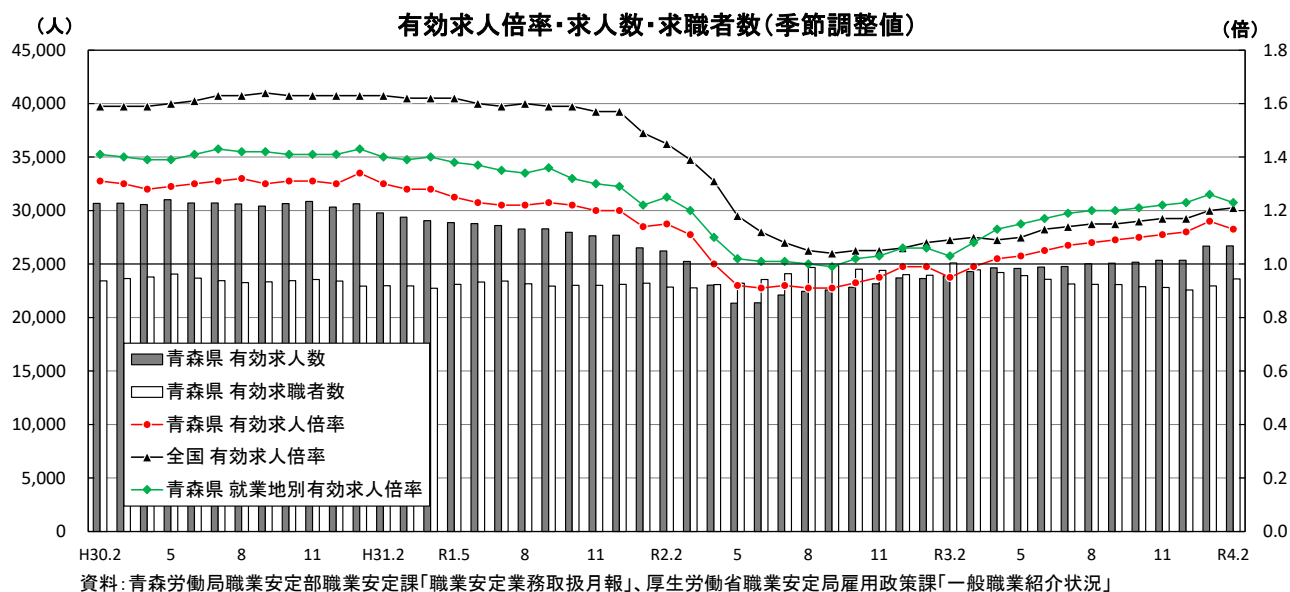
	実 数		指数(R2=100)		対前年同月増減率	
	青森県	全 国	青森県	全 国	青森県	全 国
現金給与総額	227,517 円	— 円	87.0	—	-1.6 %	— %
定期給与	223,652 円	— 円	100.5	—	0.2 %	— %
特別給与	3,865 円	— 円	—	—	—	— %
総実労働時間	140.1 時間	— 時間	95.1	—	-2.2 %	— %
所定内労働時間	130.7 時間	— 時間	94.7	—	-2.3 %	— %
所定外労働時間	9.4 時間	— 時間	100.0	—	-2.4 %	— %

※全国確報は、令和4年4月5日公表予定。

- (注) 1. 「定期給与」とは、あらかじめ定められている支給条件、算定方法によって支給される給与のことで、超過労働給与（所定の労働時間をこえる労働、休日労働、深夜労働に対して支給される給与）を含みます。
2. 「特別給与」とは、給与の差額追給額（ベースアップ分）、3か月をこえる期間単位で支給される住宅手当や通勤手当、賞与（ボーナス）等のことです。
3. 「所定内労働時間」とは、正規の始業時刻と終業時刻との間から休憩時間を差し引いた労働時間のことです。
4. 「所定外労働時間」とは、早出、残業、休日出勤等の労働時間のことです。
5. 令和4年1月分から各指数は基準更新により令和2年平均が100となるよう改訂している。

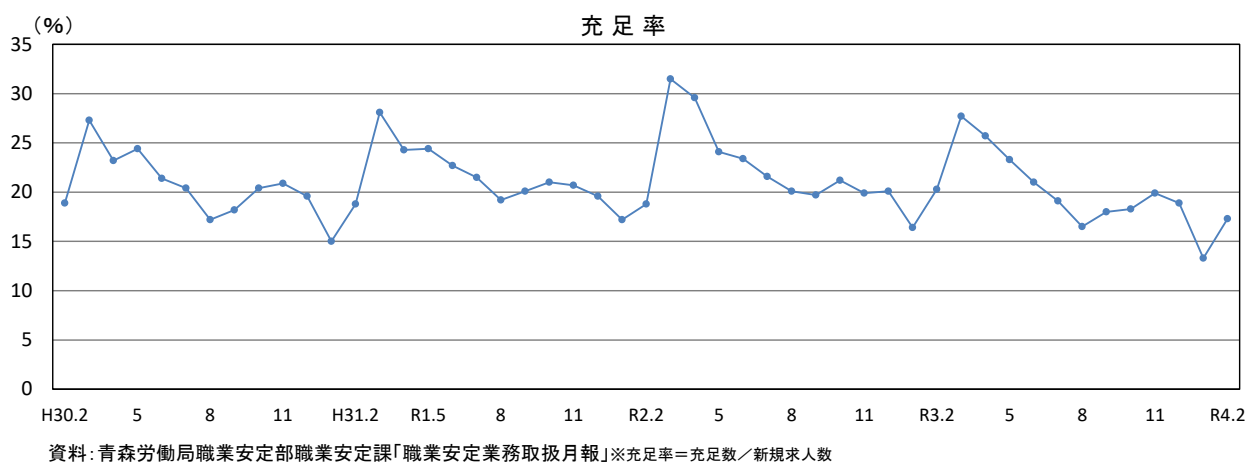
## (2-2-2) 有効求人倍率

令和4年2月の有効求人倍率（季節調整値）は1.13倍で、前月を0.03ポイント下回ったものの、11カ月連続で1倍を上回った。就業地別有効求人倍率は1.23倍で、前月を0.03ポイント下回った。



## (参考) 充足率（新規学卒者を除きパートタイムを含む）

令和4年2月の充足率は17.3%で、前年同月を3.0ポイント下回った。



## (2-3) 物価

令和4年2月の青森市消費者物価指数(令和2年=100)は、総合指数が101.7となり、前月と比べ0.4%の上昇、前年同月と比べ1.8%の上昇となった。

生鮮食品を除く総合指数は101.5となり、前月と比べ0.5%の上昇、前年同月と比べ1.4%の上昇となった。

生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は99.2となり、前月と比べ0.2%の上昇、前年同月と比べ1.0%の下落となった。

総合指数が前月と比べ0.4%の上昇となった内訳を寄与度でみると、光熱・水道、交通・通信などの上昇が要因となっている。

総合指数が前年同月と比べ1.8%の上昇となった内訳を寄与度でみると、光熱・水道、食料などの上昇が要因となっている。

図1 総合指数の動き

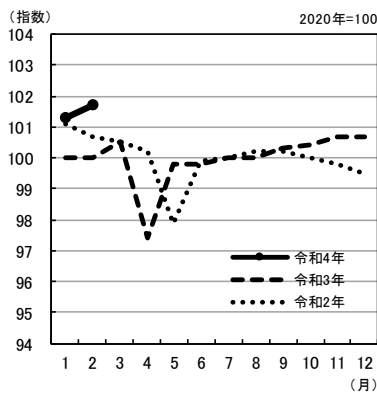


図2 生鮮食品を除く総合指数の動き

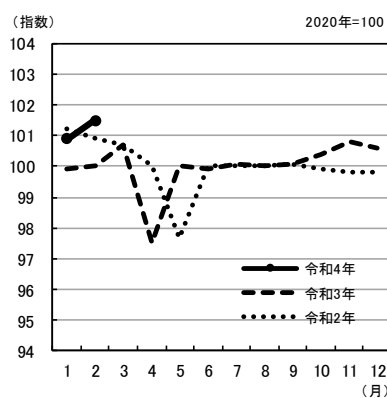
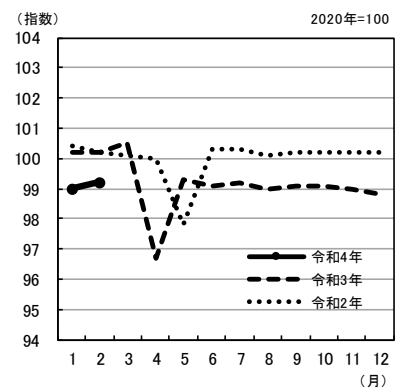


図3 生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数の動き



10大費目指数の動き

(2020年=100)

消費生活指数の動き																		2023	2022
	総 合	生鮮食品 を除く総 合	生鮮食品及 びエネルギー を除く総合	食料(酒類を 除く)及びエネ ルギーを除く 総合	食 料	生 食	鮮 品	住 居	光 熱 水 道	家 具 ・ 家事 用品	被 服 及 履 物	保 健 医 療	交 通 ・ 通 信	教 育	教 養 ・ 娯 楽	諸 雑 費			
当月指数	101.7	101.5	99.2	98.1	103.2	107.5	101.1	116.9	100.5	96.8	98.6	92.0	99.1	100.9	101.8				
前月比 (%)	0.4	0.5	0.2	0.1	0.2	▲ 1.4	0.0	2.1	▲ 0.4	0.9	0.1	0.6	0.0	0.6	▲ 0.1				
寄与度	—	0.49	0.17	0.05	0.05	▲ 0.07	0.00	0.23	▲ 0.02	0.03	0.01	0.08	0.00	0.04	0.00				
前年 同月比 (%)	1.8	1.4	▲ 1.0	▲ 2.1	3.3	9.5	0.6	16.7	▲ 0.7	0.4	▲ 0.2	▲ 7.8	0.1	1.0	1.2				
寄与度	—	1.34	▲ 0.85	▲ 1.35	0.92	0.43	0.13	1.67	▲ 0.03	0.01	▲ 0.01	▲ 1.08	0.00	0.08	0.07				

資料: 県統計分析課「消費者物価指数 月報」

※ **寄与度**とは、ある費目の指数の変動が、総合指数の変化率のうち何ポイント寄与したかを示したものであり、全費目の寄与度を合計すると、原則として、総合指数の前月比及び前年同月比(%)の値に一致する。

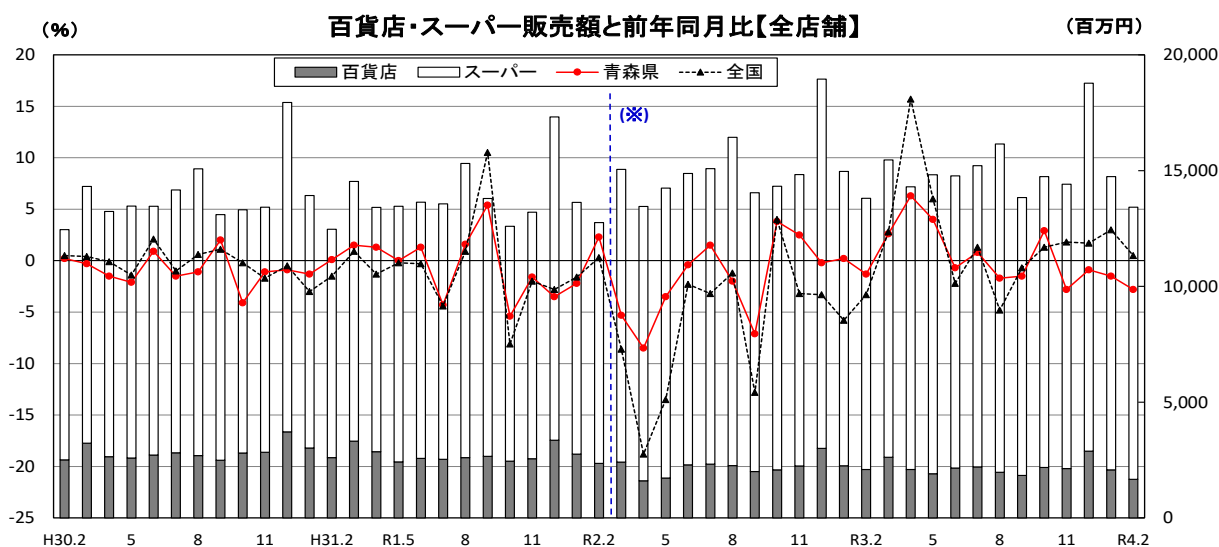
前月比、前年同月比及び寄与度は、端数処理前の指数値を用いて計算しているため、公表された指数値を用いて計算した値とは一致しない場合がある。

本資料は総務省統計局「小売物価統計調査」の調査票情報を独自集計したものである。

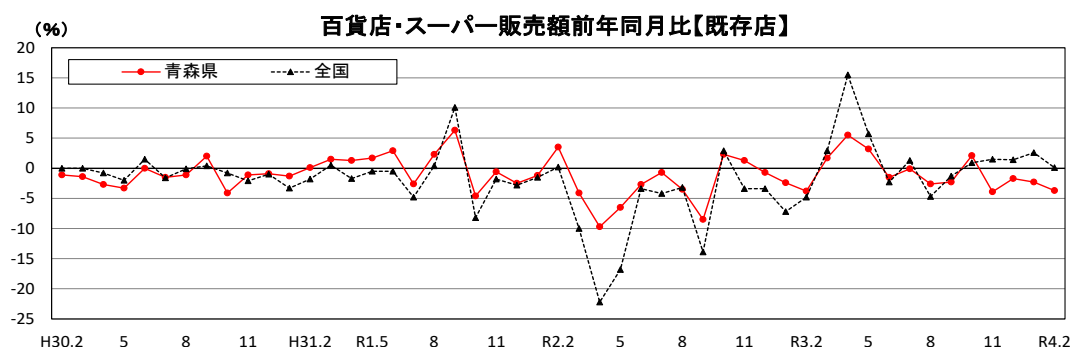
## (2-4) 個人消費

### (2-4-1) 百貨店・スーパー販売額

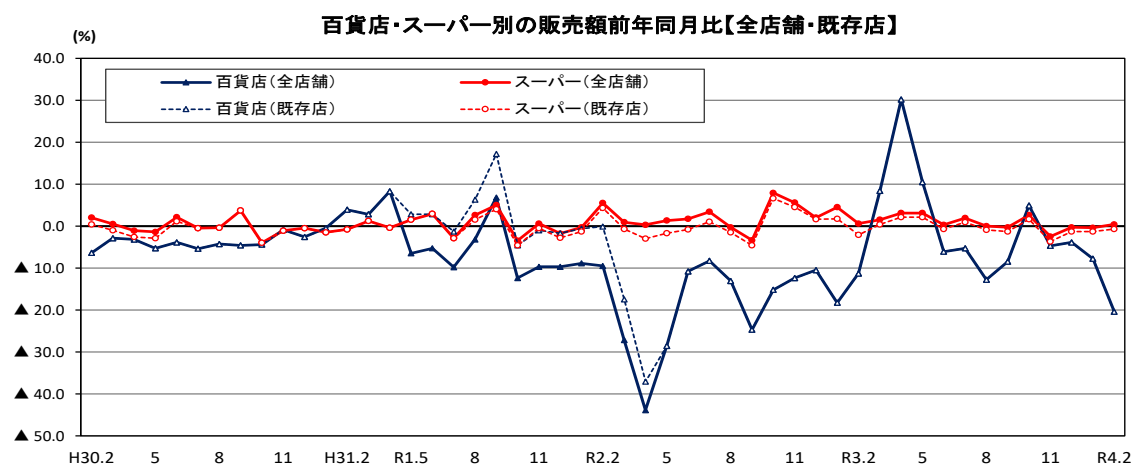
令和4年2月の百貨店・スーパー販売額は、134億円で全店舗ベースが前年同月比2.8%減(平成31年同月比1.8%減)となり、4カ月連続で前年同月を下回った。また、既存店ベースでは前年同月比3.7%減となり、4カ月連続で前年同月を下回った。



※前年同月比は、調査対象事業所の見直しが行われた場合、この見直しによるギャップを調整するリンク係数で処理した数値で計算されている。  
R2.3月からはH28年経済センサス・活動調査に基づいた対象事業所の見直しが行われ、スーパー及び百貨店・スーパー合計額の前年同月比について、そのギャップを調整するリンク係数で処理された数値となっている。

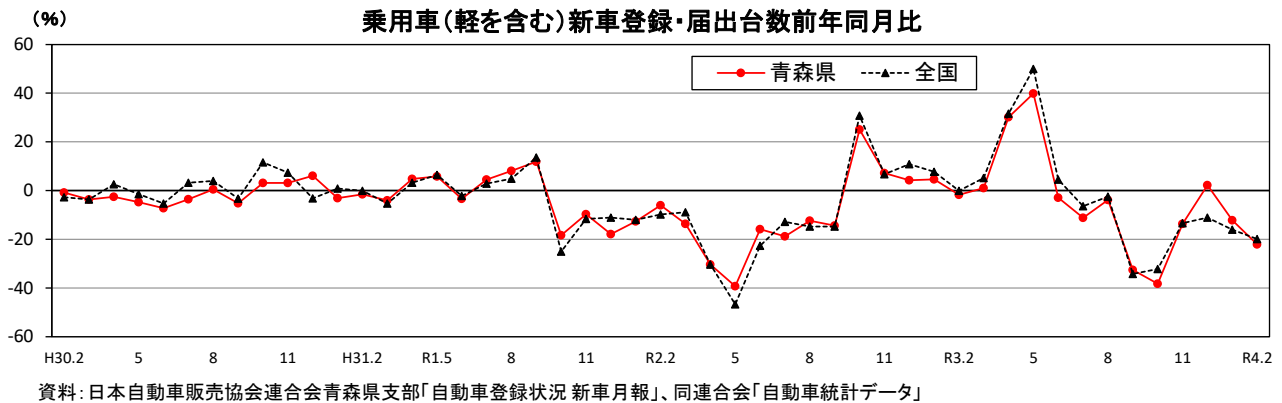


※百貨店は、従業者50人以上の小売事業所のうち、次のスーパーに該当しない事業所であって、かつ、売場面積が1,500平方メートル以上の事業所をいう。スーパーは、売場面積の50%以上についてセルフサービス方式を採用している事業所であって、かつ、売場面積が1,500平方メートル以上の事業所をいう。ただし、商業動態統計調査の家電大型専門店、ドラッグストア、ホームセンターの調査対象企業の傘下事業所で、調査対象となっている事業所を除く。  
そのうち、既存店とは、当月及び前年同月とも調査の対象となっている事業所をいう。



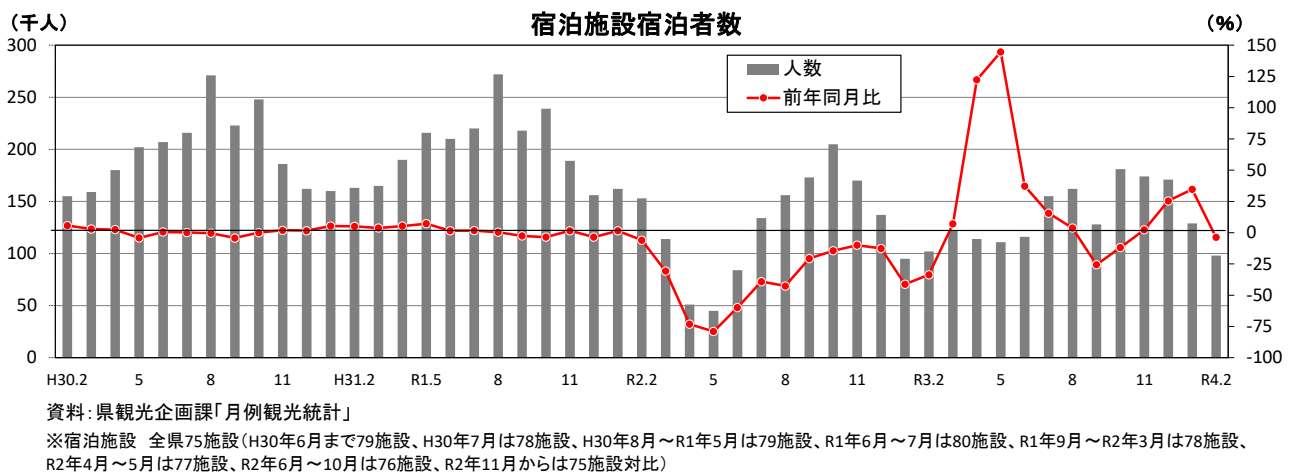
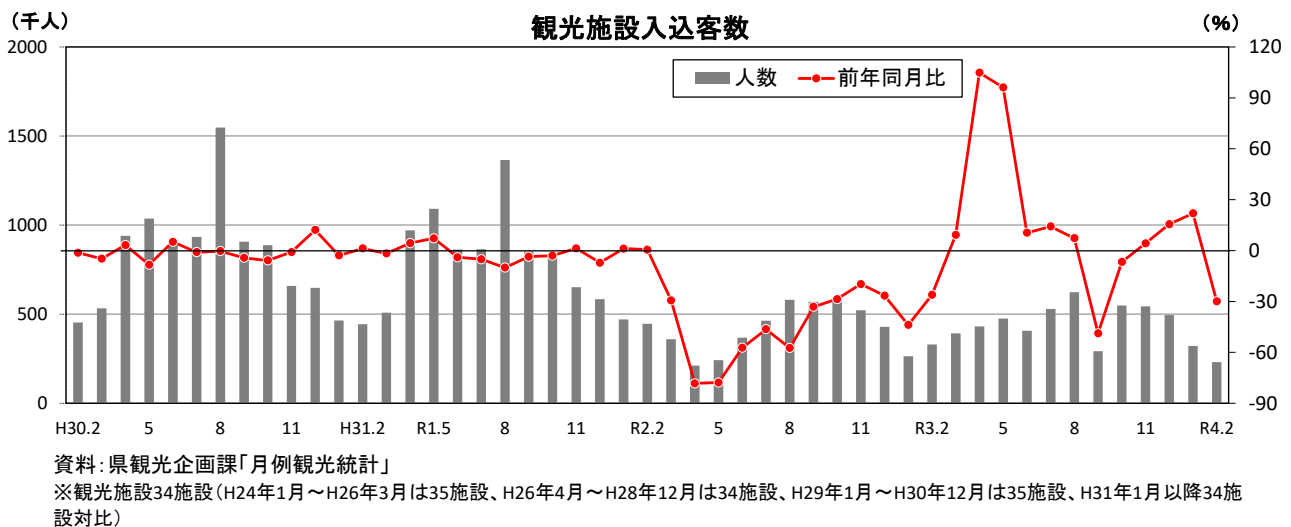
## (2-4-2) 乗用車新車登録・届出台数

令和4年2月の軽乗用車を含めた乗用車新車登録・届出台数は2,679台で、全車種が減少したことにより、前年同月比22.1%減(平成31年同月比28.2%減)となり、2カ月連続で前年同月を下回った。



## (2-4-3) 観光入込客数・宿泊者数

令和4年2月の主な観光施設の観光入込客数は、23万1千人で前年同月比29.9%減(平成31年同月比47.9%減)となり、4カ月ぶりに前年同月を下回った。また、主な宿泊施設の宿泊者数は、9万8千人で前年同月比3.7%減(平成31年同月比39.9%減)となり、4カ月ぶりに前年同月を下回り、いずれも平成31年同月を下回っている。

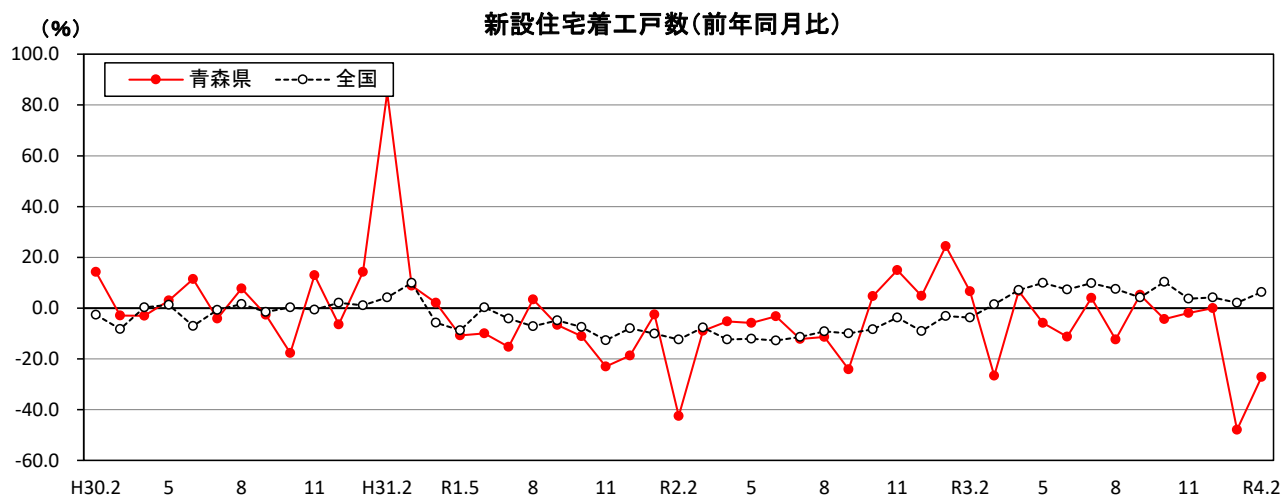




## (2-5) 建設

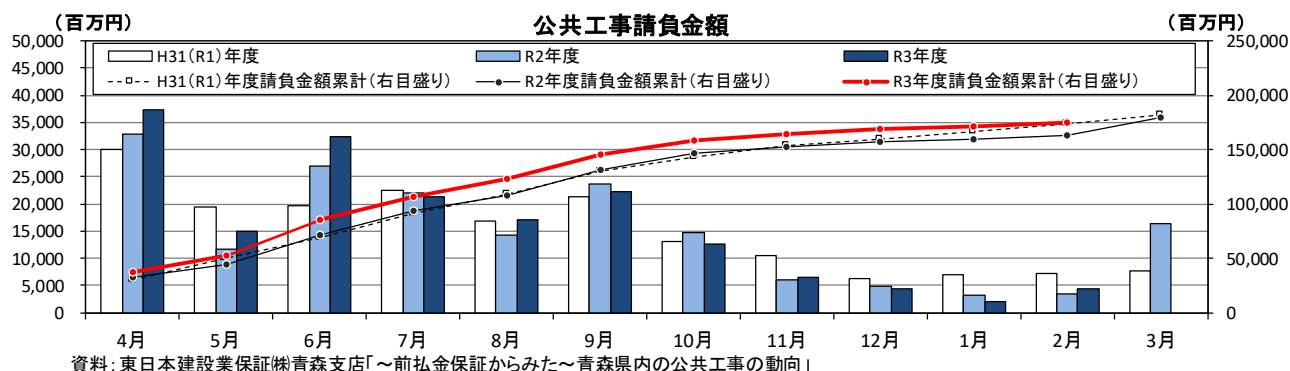
### (2-5-1) 住宅建設

令和4年2月の新設住宅着工戸数は212戸で、前年同月比27.1%減となり、2カ月連続で前年同月を下回った。主に貸家以外が減少したことによる。



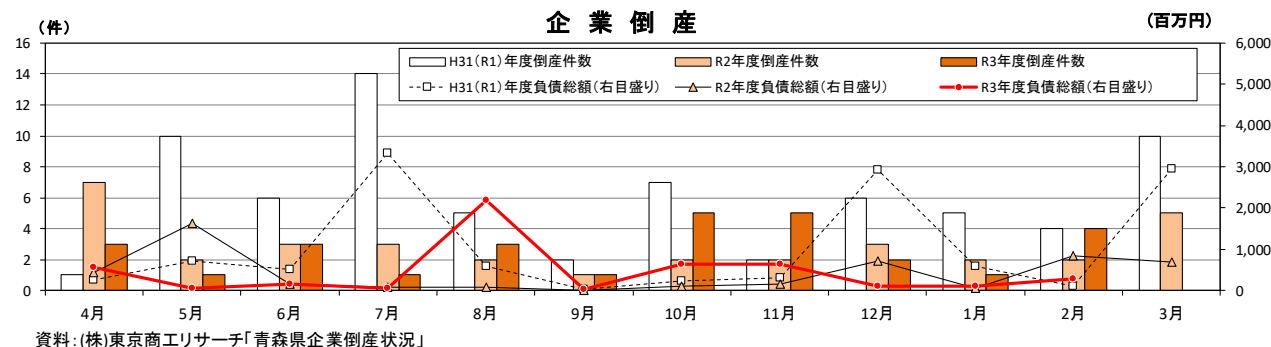
### (2-5-2) 公共事業

令和4年2月の公共工事請負金額は44億3,900万円で前年同月比33.2%増となり、県や市町村の発注工事が増加したことにより3カ月ぶりに前年同月を上回った。また、令和4年2月までの累計金額は1,753億7,300万円で前年同月比7.4%増となった。



### (2-6) 企業倒産

令和4年2月の企業倒産は、件数は4件で前年同月比100.0%増となった。負債総額は2億8,700万円で前年同月比66.0%減となった。



### (3) 青森県景気動向指数

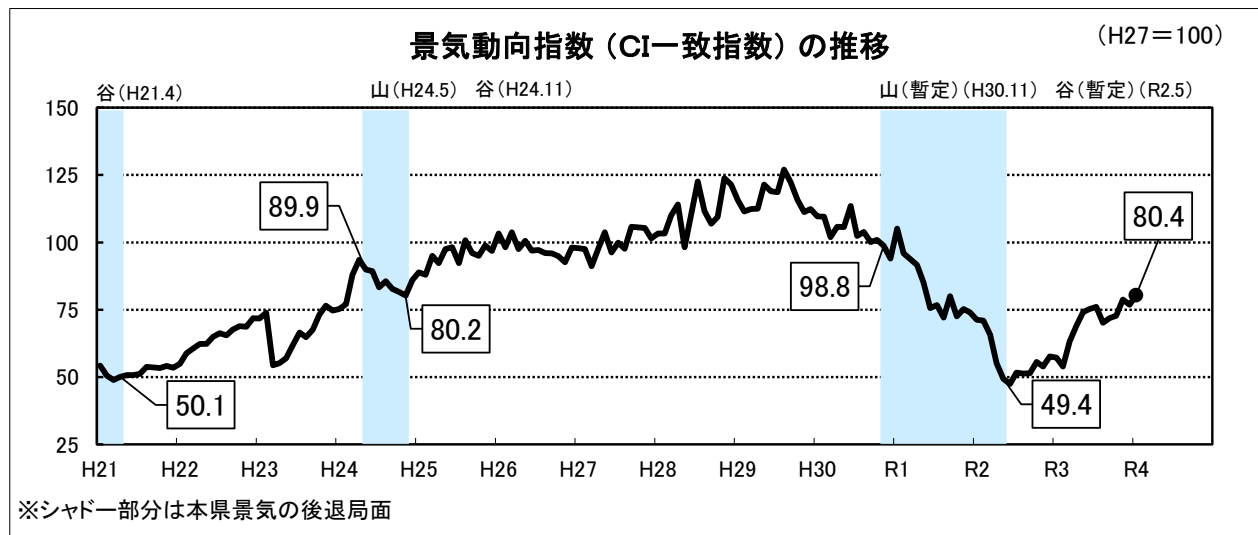
令和4年1月の青森県景気動向指数（C I）は、先行指数 120.8、一致指数 80.4、遅行指数 96.5 となった。

先行指数は、前月を 4.7 ポイント下回り、2 カ月連続で下降した。

一致指数は、前月を 3.5 ポイント上回り、2 カ月ぶりに上昇した。

遅行指数は、前月を 5.0 ポイント下回り、6 カ月ぶりに下降した。

1 月の一致指数は、雇用、流通、生産関連の指標がプラスになったことから上昇した。



●個別系列の動き（各指標は季節調整等を行い、寄与度を前月と比較しています）

●個別系列の動き（各指標は季節調整等を行ない、前年度と前分と比較してまいります）

寄与度がプラスの指標			寄与度がマイナスの指標		
先行系列					
企業倒産件数（逆サイクル）	4.21	2カ月連続	乗用車新車登録届出台数	-3.75	3カ月ぶり
建築着工床面積	0.91	2カ月ぶり	新設住宅着工床面積	-2.94	4カ月連続
日経商品指数（42種）	0.80	3カ月ぶり	中小企業景況DI	-1.79	2カ月連続
			生産財生産指数	-1.43	2カ月連続
			新規求人倍率（全数）	-0.85	3カ月ぶり
一致系列					
有効求人倍率（全数）	3.39	11カ月連続	旅行取扱高	-2.28	3カ月ぶり
輸入通関実績（八戸港）	2.20	2カ月ぶり	所定外労働時間指数（全産業）	-0.25	6カ月連続
鉱工業生産指数	0.49	2カ月ぶり	百貨店・スーパー販売額（既存店）	-0.18	2カ月ぶり
投資財生産指数	0.14	3カ月ぶり			
遅行系列					
県内金融機関貸出残高	0.37	3カ月ぶり	常用雇用指数（全産業）	-1.83	2カ月ぶり
青森市消費者物価指数（総合）	0.20	5カ月連続	りんご消費地市場価格	-1.09	2カ月連続
			家計消費支出（勤労者世帯：実質）	-1.07	2カ月ぶり
			公共工事請負金額	-0.91	2カ月連続
			有効求職者数（全数）（逆サイクル）	-0.84	2カ月ぶり
（参考）青森県景気動向指数（DI）					
先行指数	37.5%	（3カ月連続で50%を下回った）			
一致指数	85.7%	（2カ月ぶりに50%を上回った）			
遅行指数	42.9%	（2カ月ぶりに50%を下回った）			